

## 2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会の趣旨等について

### 【設置の趣旨】

- 現在の京都議定書目標達成計画は2008～2012年度の計画であり、2013年度以降の中長期的な低炭素社会構築に向けて、総合的・計画的に進めるために、2011～2012年度で準備を進める必要がある。
- 国際的な観点からも、日本が2013年度以降も気候変動対策に真摯に取り組む意志があることを明確に示すことが必要となる。
- また、東日本大震災による影響への対応や復興の観点から、再生可能エネルギーの大量導入、一層の省エネルギーの徹底等により、持続的なエネルギー需給や防災にも資する、温暖化対策の抜本的強化を推進していくことが必要となっている。
- 以上の観点から、地球環境部会では、2011年度、2012年度の2カ年で中長期的な温暖化対策による低炭素社会構築に向けた方策についての検討を実施することとしている。
- 上記の地球環境部会での検討に資するため、2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会においては、昨年12月28日に中央環境審議会地球環境部会第92回に報告した「中長期の温室効果ガス削減目標を実現するための対策・施策の具体的な姿（中長期ロードマップ）（中間整理）」を踏まえつつ、2013年以降の具体的な対策とそれを後押しする施策を如何に総合的・計画的に進めていくかについての審議を行い、その結果について、とりまとめを行うものとする。

### 【ワーキンググループについて】

- 2013年以降の対策・施策に関する検討小委員会における議論に資するため、各分野の有識者によるワーキンググループを別途設置し、議論を実施した上で、適宜、小委員会に有識者から御報告を頂くものとする。
- ワーキンググループについては、次回以降の小委員会において、その設置状況を報告するものとする。